

# 単元： クレイアニメーションを作ろう

対象教科：美術科 2年生

## ■ 実践環境

【ソフト名】 デイジーピクチャーアーティスト（アニメーション）

【周辺機器】 電子黒板

【使用教室】 コンピューター室

タブレット PC

## ■ ICT活用の効果

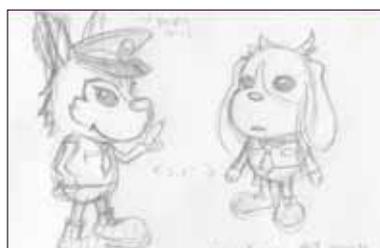
### ● タブレットの組み合わせで構想力の向上

物語のストーリーをコンピューターを使い、アニメーションにすることで、「文字を表示するタイミング」や「驚きのある映像」が見る側にとって大切と気づき、自ら深い構想を練り表現する力を向上することができます。またタブレット PC では、写真の撮影とアニメーション作成が1台の端末で行えるため、写真が足りない場合や撮り直しをすぐに行えるので、授業時間を有効に活用することができます。

## ■ 単元指導計画（全9時間）

学習題材	アニメーションで伝えよう		●アニメーションの制作
学習指導要領の事項	A表現（1）アイ（2）アイウ（3）アイ B表現（1）アイ	指導内容	絵コンテの作成 1時間 素材制作 1時間 写真撮影 1時間 アニメーション作成（本時） 2時間 鑑賞会（本時） 1時間

## ■ 実践フローチャート



### 絵コンテを確認する

作成前に構成を確認します。内容を変更する場合はこの時間で完成させます。



### タブレット PC で写真撮影

シーンを考えながらキャラクターを撮影します。



### アニメーション作成

コマを順番に並べてアニメーションを作成する。表示の切替時間の設定や効果設定を行いイメージに近づけます。

## ■ 本時の指導

### 《目標》

アニメーションで伝えることに興味を持ち、造形的な美しさなどを共同で考えて構成を練ったり、アニメーションの特性を生かしたりしようとしている。

【美術への興味・関心・態度】

伝えたい内容や見る人の気持ちを考え、コマ撮りの効果を生かし造形的な美しさなどを総合的に考え表現構成を練っている。

【美術への発想・構想の能力】

アニメーションの特性を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫している。

【鑑賞の能力】

過程	時間	学習活動・内容	指導上の留意点/評価	参照
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 粘土を動かしながらクレイアニメーションを作ることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が構想を練りやすいようにサンプル映像を見せることで、生徒の学習意欲を高める。</li> </ul>	
展開	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 絵コンテの作成をする。</li> <li>◆ 素材作成する。</li> <li>◆ 写真撮影をする。</li> </ul>	<p>動きを大きくして見て人が驚くアニメーションにしたいな！</p> <p>1枚だけ写真を撮り直そうかな。</p>	<p><b>POINT</b></p> <p><b>撮影について</b></p> <p>アニメーション用の写真は、できるだけ三脚などでカメラを固定し、背景がズレないように撮影すると、滑らかできれいなアニメーションが作成できます。</p>
	50分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 図形処理ソフトウェアを活用してアニメーションを作成する。</li> <li>◆ 再生して動きを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレーム間の時間設定を行うことで、映像にどのような変化を生むか比較できるようにする。</li> <li>・1時間が過ぎたくらいで、絵コンテをもとにコメントや動きを確認させ、イメージしている動きに近づくよう促す。</li> </ul> <p>◎ 図形処理ソフトウェアの特徴を理解し、意欲的に画像を加工している。</p> <p>【美術への関心・意欲・態度】</p>	<p>【生物育成の記録をGIFアニメーションにしよう】 マスターブック:P.37</p> <p><b>POINT</b></p> <p><b>作成中データの保存</b></p> <p>アニメーションのデータは【*.IDM】形式で保存することで、次回の授業で続きから制作をすることができます。</p>
		<p>このコマを切り替えるときに時間を長めにして文字を読んでもらえるようにしましょうかな。</p> <p>キャラクターがワープするときに効果設定を使うとおもしろいね！</p> <p>全体で何分くらいを考えてる？2分くらいだったら大丈夫じゃないかな？</p>	<p>◎ アニメーションの特性を生かし、「驚き」のある映像を工夫して表現できる。</p> <p>【美術への発想・構想】</p>	
まとめ	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 完成した映像の上映会をする。</li> <li>◆ 映像を見ながら作品のテーマを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 映像メディアとして効果的に伝える工夫をし、アニメーションの良さや楽しさを伝えることができる。</li> </ul> <p>【鑑賞の能力】</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 鑑賞用に保存をする。</li> </ul>		